



芳賀町 議会だより

No.139

平成23年11月15日発行



9月議会定例会

定例会概要：報告・補正予算・選任同意・任命同意等	2～3
産業建設常任委員会事務調査報告	3
平成22年度監査委員決算審査意見・会計別決算額一覧	4
平成22年度一般会計決算質疑応答	5
各常任委員会審査報告	6
一般質問	7～8
聲<こえ>私のいいたいこと	9
議会日誌・栃木県町村議会議員研修会・編集室	10

〈珍客に観客集まる〉

平成23年1月開催芳賀町観光写真コンテスト入賞作品

□編集／芳賀町議会広報常任委員会

□発行／芳賀町議会
〒321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020
電話 028(677)6023 FAX 028(677)6057
<http://www.town.haga.tochigi.jp/gikai/index.html>

一般会計補正予算など9議案を可決

9月定例会の概要

平成23年第7回議会定例会は、9月2日から13日までの12日間の会期で開かれ、一般会計、各特別会計補正予算をはじめ、同意案件、工事請負契約の締結などが上程されました。

監査委員からの決算審査報告がなされ、決算の認定については、各常任委員会に審査が付託され、現地調査を含め、厳正な審査が行われました。審査結果は最終日に議長への報告を行い、全員により認定されました。

慎重審議の結果、工事請負契約の締結の議案を除き、原案どおり可決し、定例会を閉会しました。



〈解体が予定される旧芳賀高等学校〉

〈報 告〉

□専決処分の報告

(工事請負契約の変更)

□継続費の精算報告

□財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明

□芳賀町ロマン開発㈱の経営状況説明

□平成22年度健全化判断比率及び資金不足率の説明

質疑 増渚さつき議員

水沼 孝夫議員

〈工事請負契約〉

□旧芳賀高等学校校舎等解体工事

事

▼入札の方法 10社による指名競争入札

▼契約金額 1億7,331万3千円

▼契約の相手方 芳賀町大字祖母井500番地 竹石建設㈱

質疑 石川 保議員

増渚さつき議員

小林 一男議員

反対討論 石川 保議員

入札日と、芳賀町最低制限価格制度事務処理要領が改正されたことをホームページで更新した日が同じで周知不足であり、

入札日と、芳賀町最低制限価格制度事務処理要領が改正されたことをホームページで更新した日が同じで周知不足であり、

公平公正性に欠けているのでは。

反対討論 小林 一男議員

解体工事であるのに、予定価格の90%という高率な最低制限価格が設定されていたことを理由に、この工事請負契約の締結に反対します。

(賛成討論なし・起立少数・原案否決)

〈損害賠償の額の決定及び和解〉

□損害賠償の額の決定及び和解

内容 平成23年5月29日、町道

上山下・岡田線の街路樹が強風により倒れ、帰宅途中の普通乗用車に接触し、損害を与えたことに対して、損害賠償額を決定し、和解するものです。賠償金は、全国町村会総合賠償補償保険で対応するものです。

(質疑なし・原案可決)

万2千円を追加し、予算総額を79億6,547万7千円とするものです。主な歳出は、地域密着型介護施設開設準備経費に対する交付金、災害廃棄物処理委託料、被災した企業への融資資金や利子補給補助金、道普請事業費、北部土地改良区幹線道路用地購入費、環境放射線モニタリングシステム設置工事費、公園施設災害復旧工事費などです。

質疑 小林 信二議員
見目 匡議員
直井 一之議員
石川 保議員
増渚さつき議員
杉田貞一郎議員
大根田和子議員

(討論なし・原案可決)

□平成23年度芳賀町国民健康保険特別会計

内容 総額に、362万6千円を追加し、予算総額を18億9,062万6千円とするものです。歳出は、保険証作成システム改修費、後期高齢者支援金等、平成22年度の退職医療療養給付費交付金などの精算に伴う返還金です。

(質疑・討論なし・原案可決)

〈補正予算〉

□平成23年度一般会計

内容 総額に、3億1,247

□平成23年度芳賀町農業集落排水事業特別会計

内容 総額に、1,387万円を追加し、予算総額を2億1,639万6千円とするものです。歳出は、地震によるマンホール修繕箇所等の修繕費、汚泥放射能測定、上給地区の管路漏水修繕工事及び緊急遮断弁設置工事費です。
質疑 増淵さつき議員
(討論なし・原案可決)

□平成23年度芳賀工業団地排水処理センター特別会計

内容 総額に、3,941万8千円を追加し、予算総額を1億675万5千円とするものです。歳出は、設計監理料及び工事請負費です。
(質疑・討論なし・原案可決)

□平成23年度芳賀町介護保険特別会計

内容 総額に3,823万8千円を追加し、予算総額を1億5,223万8千円とするものです。歳出は、償還金及び繰出金です。
(質疑・討論なし・原案可決)

□平成23年度芳賀町公共下水道事業特別会計

内容 総額に300万円を追加し、

予算総額を2億1,100万円とするものです。歳出は、施設管理費の修繕費です。
(質疑・討論なし・原案可決)

□平成23年度芳賀町祖母井南部土地区画整理事業特別会計

内容 総額に、3,990万円を追加し、予算総額を2億7,890万円とするものです。歳出は水路工事費です。
質疑 杉田貞一郎議員
小林 信二議員
(討論なし・原案可決)

選任同意

□芳賀町副町長に坪川幹雄氏

議会定例会最終日の9月13日に、坪川幹雄氏(ハツ木)を副町長に選任する人事案件が提出され、全員賛成で選任することに同意しました。

今後町長の補佐役として、町政運営に尽力されることを期待します。



□芳賀町固定資産評価審査委員会委員に斎藤俊雄氏

平成23年10月31日付けを持って任期満了となる斎藤俊雄氏(祖母井)を引き続き最適任者として選任することに同意しました。

任命同意

□芳賀町教育委員に小林久子氏

平成15年から二期八年間ご尽力をいただきました阿部憲治氏が、9月30日をもって任期満了となるため、後任として地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、小林久子氏(東水沼)を芳賀町教育委員会委員に任命することに同意しました。



産業建設常任委員会事務調査報告

6月議会定例会で、閉会中の事務調査及び行政視察の申し出を許可された産業建設常任委員会の事務調査が終了したため、9月定例会において小林一男委員長より報告されました。



行政視察(宮城県大和町)

○調査事項

芳賀町産業の震災からの復旧・復興

○調査の意見と提言

3月11日に発生した大震災によって、被害を受けた芳賀工業団地等立地企業に対し、その復旧に係る修繕費用額等による固定資産税の減額などの方策を速やかに実施願いたい。

また、復旧工事等の施工によって、償却資産の残存価格の増加や、耐用年数の延長などの不利益が生じないことを併せて周知し、被災企業が被害に応じた支援を確実に受けられるよう、適正なる取り組みをお願いしたい。

平成22年度 決算審査意見

監査委員 樋谷 力
監査委員 小林 信一



樋谷 力代表監査委員

本町の財政構造については、柔軟性を保持し、比較的健全に運営されており、事業等歳出についても概ね誠実な執行が行われていると認識しました。

本町の平成22年度単年度財政力指数は「1.188」、健全化判断比率においては、実質公債費比率7.9%、将来負担比率が0.1%で他の判断比率は該当なし。資金不足比率も該当はありません。なお、自主財源比率は75.8%です。財政基盤の礎を築いてくださった先達の努力に感謝申し上げ、町執行部が丸となり行財政改革に取り組んでいる結果であることに敬意を表したいと思います。しかしながら、財政の根幹を

なされています。特別会計の負担区分の明確化を踏まえた健全経営に取り組まれるようお願いいたします。

公有財産について、有効な利活用又は処分を行うべきものが見受けられます。区画整理事業による保留地や分譲地、芳賀工業団地内の企業撤退などによる跡地などを含め、対処をお願いいたします。なお、工業団地内企業の撤退跡地においては、税収以外にも芳賀工業団地排水処理センター特別会計使用料収入に於いての減収の原因にもなっております。

事務事業の執行について、提出された資料の精査上、マネジメントシートの審査での活用、町税徴収率が県内1位となったこと、町民会館運営面などにおいて、執行部の努力が見られましたことを申し添えます。

結びに、長引く景気低迷や未曾有の大震災により、厳しくなる一方の財政状況に対し、職員一人ひとりが危機感を持って歳入の確保に努め、経済的で効果的かつ効果的な事務事業の執行を行っていただけるよう要望いたします。

なす町税は、景気低迷等のあおりを受け、平成22年度は前年度より21.2%減少し、約46億6,833万円が収納されました。前年比約12億5,807万円の減収となりました。また、平成14年度から9年間、連続して普通地方交付税の不交付団体でありましたが、残念ながら平成23年度は交付団体に転じることとなりました。行財政の運営については、納税者であり、生活者である町民との共通認識を持ち、最小の経費で最大の効果が得られるよう努力をお願いします。本町の地方債の残高ですが、一般会計と3つの特別会計で、75億3,834万円に達しております。年々減少傾向ではあるが、特に特別会計においては基本収入の確保により、健全な運営と後世への負担軽減をお願いします。

また、祖母井南部土地区画整理事業などの特別会計に対して、一般会計から多額の繰り入れが

(単位：千円)

区分 会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	8,626,180	7,718,490	907,690
国民健康保険特別会計	1,970,006	1,827,807	142,199
老人保健特別会計	6,098	6,098	0
農業集落排水事業特別会計	280,338	268,798	11,540
芳賀工業団地排水処理センター特別会計	69,186	62,198	6,988
介護保険（保険事業勘定）特別会計	1,157,027	1,077,293	79,734
介護保険（サービス事業勘定）特別会計	7,815	2,098	5,717
公共下水道事業特別会計	168,893	151,512	17,381
祖母井南部土地区画整理事業特別会計	370,809	349,579	21,230
宅地造成事業特別会計	101	19	82
後期高齢者医療特別会計	112,318	111,296	1,022
計	12,768,771	11,575,188	1,193,583

平成22年度 会計別 決算額一覧



平成22年度

一般会計決算

質疑応答

(抜粋)

質疑 石川保護員 旧高橋小学校に係る工事請負費が多額であるが、グラウンド整備工事の内容は。

総務課長 校舎解体した後、整地し、グラウンドを広く使用するため、沈み込みがあったので表面に砂を入れました。

質疑 増淵さつき議員 生きがいサロンの目的は要介護になる人を減らすことなのですが、男性の参加促進をどのようにお考えか。

健康福祉課長 生きがいサロン参加者が少ない男性は、集団の中に出たがらない、入ることが苦手な方が多いので、今後参加を促していきたいです。

□ 学童クラブの定員、特にな

かよしクラブは人数も多いうえ外遊びができない施設ですが、今後どのようにしていく予定か。こども育成課長 対象児童数が多く、場所、施設の問題は内部からも出ています。今の場所又は違う場所に移設するのか、総合的な検討を加え、考えていきます。

質疑 市川宗司議員 職員研修事業費がここ4年くらいの間116万5千円ほど減額されているのはなぜか。

総務課長 要因は、市町村アカデミー派遣や海外研修派遣、その他専門研修が少なかったからです。

□ 諸々の研修の結果、成果指標が出ているが、「町の施策立案に積極的に関与して、意見や提案をしている」と答えた職員の割合が低いのは。

総務課長 研修の結果でなく、人事評価の割合を挙げているから低くなっています。

質疑 小林隆志議員 昨年の決算時に廃校跡地で電気を使用しない場合、高圧契約では無駄になってしまうので、東京電力と話し合うというつもりでしたがその後契約はどうなっているか。

総務課長 旧水沼小、旧高橋小は低圧に切り換え、旧芳志戸小は、使用の問い合わせがあり高圧のままになっておりますが、使用希望団体の撤退があるので、低圧に切り換えます。

□ 芳賀高校跡地の契約はどうか。

都市計画課長 芳賀高校跡地は低圧に換わっています。

質疑 小林一男議員 町ホームページの例規データ更新が遅れたことを、管理業務の中では正することを考えているか。

企画課長 システム機器保守管理委託契約の例規データ更新作業は明記されていないので、現契約の変更か新たな契約で更新作業を規定することにより責任を明確にしたいと考えています。

質疑 小林俊夫議員 芳賀町農作物病害虫防除対策協議会補助金は、県からの補助金ほどのくらいか。

農政課長 県からの補助金については、かかった費用の三分の一です。

質疑 見目 匡議員 平成23年度は地方交付税交付団体となり、厳しい財政状況下にあるが振興計画後期計画において、町長として見直しを考えるか。

町長 税収が減っていくのであれば見直しも必要だが、なるべく計画どおり実施したいと思っています。

質疑 水沼孝夫議員 広報紙発行事業費が年々減っているのはなぜか。

企画課長 広報紙発行が年12回・必要に応じて臨時号、各課チラシ配布をしておりますが、単価的に若干下がったこと、臨時号、チラシの回数が減ったことが要因です。

質疑 杉田貞一郎議員 広告収入21万円の内訳は。

企画課長 町のホームページに三社の広告を掲載しています。二社が一年間、一社が半年間となっています。

□ 広告収入を今後どのように考えているか。

企画課長 芳賀チャンネルが開局されたので、そちらにも広告

を載せて頂けるよう推進していきたいです。

□ 橋梁長寿命化点検調査はどれくらいの成果があり、経費節減につながるのか。

建設課長 そこまでの内容は今の段階で把握できていないので今後検証していきます。

質疑 北条 勲議員 多額の不要額が出ているケースがあるが流用などしないのはなぜか。

企画課長 未執行分は個々の理由があります。流用すべき理由があれば流用するものです。

質疑 大根田和子議員 米粉消費拡大事業で17万減額されているが、どんな事業をしたのか。農政課長 料理コンクールや町民祭に米粉クッキーを配布しました。



常任委員会審査報告

平成22年度一般会計及び各特別会計決算認定案件は、9月7日の本会議において各常任委員会に審査を付託し、7日から9日まで厳正に書類や現地での審査が行われました。審査結果は、9月13日の本会議において報告され、全員により認定されました。各常任委員会の審査においての意見、留意事項は、次のとおりです。

総務常任委員会



広域ごみ処理施設用地(真岡市)

1 新エネルギーを活用した自然と調和するまちづくりを進めるため「芳賀町地域新エネルギービジョン」が策定された。

このビジョンを町全体で推し進め、さらなる地域循環型社会「環の町芳賀」の実現に取り組みたい。

2 震災から半年を経過したが、町内の瓦礫処理は遅々として進まず、4カ所の搬入先では瓦礫がうず高く積みあがっていて町民に不安を与えているため、瓦礫の処理対応を早急に図られたい。

瓦礫の受け入れについては、来年9月まで延長されたものの、未だ修理のめども立たず困窮している住民も少なくない。搬入期限に間に合わず不利益を被る事のないよう十分配慮されたい。

教育民生常任委員会



芳賀中学校(技術室)

学童保育所の入所児童数は年々増加の傾向にある。特になかよクラブは利用者が多く手狭になっている状況であり、多目的施設である農業者トレーニングセンターという多様な利用環境から今後の対策が必要である。

のびのびと遊べるグラウンドが併設された学童保育にふさわしい施設で、こども達が元気に健やかな成長が出来るような環境を検討されたい。



産業建設常任委員会



梨畑のコンヒューザー(稲毛田)

各課がそれぞれに事業を計画し予算執行しているが、各事業について単独計画執行となっていて非効率と思われることが散見される。

農政課の地域農産物ブランド化事業・米粉消費拡大事業と商工観光課の商業振興費は、統合して大きな事業展開が期待できる。また、後継者結婚事業は、イチゴ祭りや観光協会助成事業との共催で事業費以上の効果が期待できる。

それぞれの事業について、各課係を越えて統合共催することによる相乗効果から費用対効果を最大とするよう再構築に努められたい。

旧高橋小学校跡地利用計画について

一般質問

議会だよりに掲載する一般質問の内容は、質問・答弁を簡潔に要約執筆し、掲載しています。



市川 宗司 議員

町 地元から更なる要望がある時は

問

旧高橋小学校跡地利用計画が、現在は白紙状態になっています。町の第5次振興計画後期計画案にも示されていません。今後5年先まで放置されてしまうのでしょうか。

平成19年11月に提出された旧高橋小学校跡地利用検討委員会答申書には、校舎について「サークル活動の集会ができる施設として早期に利用を計りたい。」また、「解体新築することも含めて検討されたい。」との付記もございました。その答申書が出されて、早4年近くが経過としておりますが、町長のお考えをお示しください。

整備を行いました

答

町長 平成20年8月に旧高橋小学校跡地利用検討委員会を開催し、その結果利用希望は老人クラブのグラウンドしかないの、後は町でお願いしたい。グラウンドになった場合は、校舎を解体し、休憩所、洋式トイレを設置するということができるとなりました。

町では、利用要望や意向を踏まえ、最終的にグラウンドと地域体育館として利用すること

し、平成22年度に整備を行いました。

問

今ある旧高橋小学校の体育館に手を加え、体育館機能を保ちながら多目的ホールとして使用できるよう改造し、校庭は町のホームページに載せられるような公園に開発していたら、建築の法律に触れることもなく開発できるのではないかと思います。町長と執行部のお考えを伺います。

更なる整備要望が出されたら

答

町長 地域体育館への改造と空き地を憩いの場の公園として利用してはどうかという点ですが、実態を調査の上、地元と協議しながらグラウンドや地域体育館として利用を図っていきたく考えております。その後、自治会や利用者などから、そのような更なる整備の要望が出された場合には、必要性を含め検討していきたく思っています。



旧高橋小学校跡地

職員の意識改革を進めたい

答

町長 町では平成20年3月に、芳賀町人材育成方針を見直し、望まれるサービスを職員の革新的思考で行動する職員、社会に貢献活動する職員を目指しているところであります。

このような方針を設定していますが、町民満足度調査では、あいさつができない、対応が悪い、執行執務態度が悪いなどの意見も出されております。改善に向けて、さらに意識改革を進めていきたいと考えております。

問

民間企業（サービス業）へ研修をさせてみてはいかがでしょうか。

今後、実施検討

答

町長 新人の民間企業への研修は、今後とも検討していきたい。中間職員の研修は、講師を招いて実施しており、続けていきたいと思っております。

地方公務員の意識改革について

問

一般企業のどこの会社でも同じですが、一円の利益を生み出すことで一生けん命活動しているわけですが、企業の社員と行政の職員との意識の格差というものを感じるの、決して私一人だけではないと思います。町長のお考えをお示しいただきたい。



議員 さつき 増淵

適正な社会保障制度の維持について

町 資産の在り方を検討中

問 町の国民健康保険税は、所得割・資産割・均等割・平等割の4つの計算方法を組み合わせて一世帯当たりの保険税を決めています。市町によってはこのうち2つまたは3つを組み合わせて決められています。

資産には固定資産税が課せられているため、資産割には不合理な点があります。適正な社会保障制度の維持のため平成25年度の制度改正に合わせて課税方式について検討できないか伺います。

資産の在り方を検討中

答 町長 国保税の算定方式の資産割については、保険税の負担能力に応じ課税する所得割を補完する役割として設けられたものです。

しかしながら、資産の所有者が必ずしも保険税の負担能力を算定する基礎として実情に即しているとは認めがたい事例も見受けられます。

こうしたことから、新たな法律や福祉制度の改正に向け、資産の在り方を検討しているところです。

国保税は、他の被用者保険に

はない応益割（収入や資産に係なく一律に計算）の要素が取り入れられています。これは地域保険として、住民相互の連帯感に支えられ運営されているためです。

応能割（収入や資産に応じて計算）5割・応益割5割を基本に国保相互扶助の理念に基いた制度であることを考慮し、加入者にとって一層公平な課税となるよう検討していきます。



保険税の決め方

所得割	加入者の所得に応じて計算
資産税割	加入者の固定資産税額に応じて計算
均等割	各世帯の加入者数に応じて計算
平等割	一世帯当たりにもくらと計算

*芳賀町では4つの計算方法を組み合わせ、一世帯当たりの保険税が決まります。

問 課税方式の変更により国保税の引き下げ効果について伺います。

答 町長 ここ数年の国保財政の実質収支は赤字となっていて、財政調整基金を取り崩し補填しています。

今後も進展する高齢化や医療費の増加、景気の低迷による保険収入の低下等により、国保財政は厳しい状況になると考えています。資産割を除く3方式で課税しても引き下げ効果はないと考えます。

**徴収率アップ！
新たな収納率アップ策は**

問 栃木県経営管理部が公表した2010年度市町村税徴収率によると、芳賀町は県内1位となりました。徴収率アップの施策の評価を伺います。

また、住民の利便性向上のため、公金クレジット決済の導入やモバイル決済端末機を使用した口座振替手続きの導入など新たな施策の展開について伺います。

システム導入には多くの検証が必要

答 町長 1位の要因として県地方税徴収特別対策室との協働と併せて、管理職全員で

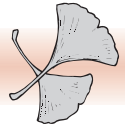


手続きが簡単に済むモバイル決済端末機

納税対策に取り組んできたことに加え、工業団地に立地する企業からの安定した税収が確保されていることが挙げられます。

次に徴収率アップのための新たな取り組みの「コンビニ収納」や「クレジット収納」は検討した経緯はありますが、かなりラニンングコストが掛かり、費用対効果の面から検証していく必要があります。

今後も現在推進している口座振替率を高めることや訪問徴収・預貯金の調査、差押等に力を入れながら、滞納を減らし、収納率の向上に努めていきたいと思



大震災の復興に向けて



小林 仁子さん
(西水沼)

東日本大震災は、誰もが大きな衝撃を受けたと思いますが、まだ余震が続いています。芳賀町でも多くの家屋が被害に遭い、倒壊、土砂くずれやライフラインが止まり、ガソリンの品不足と大変な事に直面しましたが、今年上半年以上が過ぎようとしています。

町でも避難所を設置し、津波・原発問題等で県外からの避難者も多数受け入れたとお聞きし、更に瓦礫の処理等、それらの対応に追われた各関係機関の方々に

感謝の気持ちで一杯です。また芳賀郡内市町の施設も被災した所が多く、芳賀町民会館や廃校が利用・借用されているとお聞きし、これは先人の町民関係者の努力の賜であると思います。有難さ、協力の大切さ、絆を感じました。

これからの議会でも、復興に向けて課題は山積みと思いますが、防災・減災を考えて、土砂災害対策を第一に、また子供達、高齢者の施設の充実、廃校の有効活用を望みます。

電光掲示板の設置を

私は小さい頃から野球少年でした。今はソフトボールチームに加入したり、野球連盟の理事として学童野球や社会人野球で審判をしています。

今年は震災の影響で暗いニュースが多い中、作新学院が甲子園でベスト4という活躍で感動と勇気を与えてくれました。野球とは礼儀、礼節、チームワークの大切さなどが学べる素晴らしいスポーツだと思います。県内でも芳賀町は野球の盛んな町だと言われており、昨年は芳賀南

クラブが県大会で優勝、自分が監督を務める実年ソフトボールチームも県大会で優勝しました。これもナイター設備や水はけの良いグラウンドなど優れた球場が地元にあるおかげだと思います。さらに県大会でも使用する所なので、町の野球発展のためにも電光掲示板（スコアボード）が設置されれば活気づくのではないのでしょうか。よりよい環境でプレーすることで将来のプロ野球選手の誕生を期待します。



桜井 孝さん
(稲毛田)

私の不安



阿部 紀栄さん
(下高根沢)

子どもの成長は、親として楽しみです。最近のニュースや新聞等で、学生や主婦の就職難や年金に不安を感じています。また、夫の定年後の再就職も心配で、年金受給までの生活が不安です。

芳賀町は工業団地もあり、引き続き企業誘致に頑張ってください、若い人たちも定着できる町づくりをお願いします。

年金については、最近の新聞で専業主婦等の「第3号被保険者」見直しの記事を読みました。年金は何度も改革の名のも

とに「改悪」をしているように思います。一般会社との契約なら、詐欺ではないでしょうか。

少子高齢化の中、年金受給者を支える次世代の現役世代を育て、親の介護等をする専業主婦等は、苦しい立場になります。

夫婦共働きでは、一人っ子の世帯が多くなり、将来の年金への子供たちの負担が大きくなり、少子化が止まらないと思うのですが？

議会日誌

平成23年

8月

- 9日～・産業建設常任委員会行政視察
10日 (福島県・宮城県)
- ・県市町村トップセミナー
(宇都宮市)
- 17日・県土整備委員会現地調査
- 25日・議会運営委員会
- 26日・芳賀中部上水道企業団水道運営協議会
- 29日・高齢者総合福祉計画策定委員会

9月

- 1日・郡議長会定例会
- 2日・第7回芳賀町議会定例会
(～13日)
- ・議員全員協議会
- ・産業建設常任委員会
- 3日・町敬老祭 ・中学校運動会
- 6日・教育民生常任委員会
- 13日・議会運営委員会
- ・議員全員協議会
- ・広報常任委員会
- 16日・戦没者追悼式
- 17日・各小学校運動会
- 25日・西方町閉庁式
- 26日・芳賀中部上水道企業団定例会
- ・芳賀郡中部環境衛生事務組合定例会
- 29日・芳賀町障害福祉計画策定委員会

10月

- 6日・議員全員協議会
- 9日・町民運動会
- 11日・県町村議会議員研修会



栃木県町村議会議員研修会に参加

栃木県町村議会議長会主催による町村議会議員研修会が、10月11日に宇都宮市東市民活動センターで開催されました。県内12町の議会議員170数名が一堂に会し、熱心に研修されました。

朝日新聞社編集委員星浩氏から「日本政治の課題について」、テレビでおなじみの経済ジャーナリストの須田慎一郎氏からは「震災復興と日本経済の行方」と題して講演があり、特徴ある話術で政治課題や日本経済の動向などを中心に語り、聴衆の関心を引いていました。



熱心に聴き入る議員



熱く語られる
須田慎一郎氏

芳賀チャンネルでも放映

〈次回の定例会開催予定日は12月1日(木)です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

※議会定例会の様様をその日の20:00～と再放送を翌日8:00～に放映

編集室

3月11日に発生した巨大地震で被災した福島第一原発の放射性物質による汚染は、未だ多くの不安を国民に与えております。稲わらからの牛肉汚染、足柄・静岡・狭山地域のお茶、最近では福島のキノコ等、被害は東日本に留まらず、中部地方にまで広がりを見せております。

さて、この事故によって飛散した放射線量は、広島原爆の29個分相当に匹敵すると発表されておりますが、その線量が膨大になれば必ず濃縮されて想定外に高い濃度の地域が生まれ、健康被害の予防が必要になります。チエルノブイリの事故後15年頃からは、膀胱がんが65%増加したとの報告もあります。

その原因の一つがセシウム¹³⁷で、このセシウムは一九四〇年代前までは自然界に存在せず、ウラン²³⁵の分裂いわゆる原爆と原発によって人為的に作られる物質と言われております。

一日も早い原発事故の終息を願って止みません。

(議会広報常任委員会

委員 市川 宗司記)